

マニュアルタワーデュプリケータ



JetCopier P シリーズ

取扱説明書

もくじ

ページ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
ご使用の前に	5
内容物の確認、各部名称	6
ドライブ・コントロールパネル	7
メニュー一覧	8
準備する	10
HDDをマスターにしてコピーを行う	11
メニュー別の操作説明	12



安全上のご注意

ご使用いただく前に、以下の注意項目をご確認いただき、正しい使用を行ってくださいますようお願いいたします。誤った使用を行った場合には、お使いいただく方や周りの方、および環境へ損害を与える危険がございますので、くれぐれもご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されることを示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険または物的損害の発生が想定されることを示しています。

	△ 記号は「気をつけるべきこと」を表しています。 (左の記号は「感電注意」を意味しています)
	○ の中に\の記号は「してはいけないこと」を表しています。 (左の記号は「分解禁止」を意味しています)

警告

水が掛かる恐れがある場所や、屋外には置かないこと 感電や火災の原因となります。	
電源には交流100ボルトを使用すること 交流100ボルト以外を使用した場合は、感電や火災を引き起こすおそれがあります。	
電源プラグの金属部分（コンセント挿入部分）にホコリや水が付着している場合には、良く拭き取ってから使用すること 電源プラグの絶縁不足により放電し、火災の原因となります。	
電源コードの付け根や本体が切断していないか確認すること 切断箇所が導体に触れることで感電や火災を引き起こすおそれがあります。	
煙が出ていたり、異音がしたり、変なにおいがしたりした場合には即座に使用を中断し、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜くこと 使用を続けると、火災や感電、破裂等を引き起こすおそれがあります。	
本製品に強い衝撃を与えたり、破損したりした場合には即座に使用を中断し、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜くこと 使用を続けると、火災や感電、破裂等を引き起こすおそれがあります。	
本製品の動作中に、搬送アームに触れないこと すき間に挟まれてけがをしたり、機械を破損したりするおそれがあります	
本製品のすき間や通風口などから物を差し込んだり中に入れてたりしないこと 本製品が破損したり、感電したりするおそれがあります。 誤って物が入ってしまった場合には使用を中断し、コンセントを引き抜き、各販売店までご連絡ください。	
本製品の上に花びんやコップなどの液体が入った容器を置かないこと 本製品が破損したり、感電したりするおそれがあります。 誤って液体が掛かってしまった場合には使用を中断し、コンセントを引き抜き、各販売店までご連絡ください。	



警告

<p>雷が鳴り始めたら本製品に触れないこと 感電するおそれがあります。</p>	
<p>不安定な場所や、弱い土台の上に載せて使用しないこと 本製品が落下してけがの原因となったり、破損したりするおそれがあります。</p>	
<p>お客様ご自身で当製品の修理、改造、分解を行わないこと 必要となった場合には各販売元へご連絡、ご相談ください。</p>	



注意

<p>通風口の前に物を置いたりしてふさがないこと 本製品が高温となり、やけどを負うおそれがあります。また、本製品を破損することがあります。</p>	
<p>本製品を移動する場合には、コンセントから電源プラグを引き抜いてから行うこと 電源プラグを引き抜かず移動させようとすると、電源コード、コンセント、本製品との接合部分を破損したり、引っ掛けて本製品を落下させてしまい、けがを負ったりするおそれがあります。</p>	
<p>電源プラグを引き抜く場合に、コード部分をつかんで引き抜かないこと ケーブルやコンセントが破損するおそれがあります。</p>	
<p>濡れた手で電源プラグを差し込んだり引き抜いたりしないこと 感電するおそれがあります。</p>	
<p>直射日光の当たる場所や、高温になる場所に設置しないこと 本製品が高温となり、火災や故障の原因となります。</p>	
<p>湿度が高くなる場所やホコリが多い場所に設置しないこと 火災を引き起こしたり、感電したりするおそれがあります。</p>	
<p>問題が発生していないか定期的にチェックを行うこと 以上の項目に該当しないか、定期的にチェックを行ってください。不明な点がある場合には、各販売店にご相談ください。</p>	

使用上のお願い

取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠くへ運ぶ場合は、傷が付かないように毛布等で包んで下さい。
- 殺虫剤や揮発性のものを掛けたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変色したり塗装が傷む場合があります。
- 長時間ご使用になると、天板・側板・後部などが多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 使用しない時は電源を切って下さい。
- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて下さい。
- 製品を梱包してある箱および付属品は、修理や点検の際に必要なことがありますので、保管することをお勧めします。

使用場所・ご使用時は

- 操作パネルやドライブなどの汚れは、柔らかい布で軽くふき取って下さい。
- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を使い、よくふき取って下さい。
(ベンジンやシンナーは塗装を傷める原因となるため使用しないで下さい)

著作権について

BD/DVD/CDディスクには、著作権の付いた物が多く存在します。個人的に楽しむ目的以外の複製は、権利者の許可がある場合を除いて、法律で固く禁じられています。

当製品を使用し無断複製などの違法行為が行われた場合、当社は一切の責任を負いません。

一般に、レンタルや市販されているBD/DVD/CD作品にはコピーガードが付与されており、複製ができないようになっている場合があります。本製品にはそのようなコピーガードをはずす機能は付随していません。

CPRMディスク取扱いのご注意

※DVDディスクをご利用の場合のみ

- CPRMガード処理済のマスターディスクについて
CPRMのコピープロテクトの掛かったディスクは完全にコピー出来ません。
CPRM対応メディアは通常のメディアにはない、暗号化領域を持っており、
デュプリケータでコピーが正常終了しても、再生できない仕組みとなっております。
- CPRM対応ブランクメディアについて
「地デジ対応」「デジタル放送対応」と表記のあるブランクメディアはCPRM対応です。
マスターディスクがCPRMコピーガードが掛かっている、いないに関わらず、CPRM対応メディアでコピーしたディスクを再生するには、ドライブ、ソフトウェアいずれの対応も必要となるため、再生互換性に問題が起こる可能性があります。

ご使用前に

本機をご使用になる前に、作業が効率よく進行するよう、下記の文章をお読み下さい。

1. ドライブについての注意

DVD±Rドライブを装備したデュプリケータがコピー出来るのは、DVDとCDとなります。
BD-Rドライブを装備したデュプリケータは、DVD、CDと合わせてBDもコピーが可能です。

2. マスター（コピー元）ディスクについての注意

マスターディスクは、ファイナライズされた（クローズ状態）ものでなければ、正常にコピーが出来ない場合があります。ファイナライズされていない（オープン状態）のものは、ファイナライズを行ってからコピー作業を開始するようにして下さい。

なお、本製品にファイナライズ機能はございませんので、パソコンでマスターディスクを作成する際に、ファイナライズ処理まで済ませて下さい。

ファイナライズの有無を、本製品の「ユーティリティ」内「ディスクジョウハウ」にてチェックする事が可能です。不明な場合にはご活用下さい。

3. ディスクのコピー制限

一般的にレンタル用や市販されているDVDおよびBlu-ray作品には、コピーを防止する機能が付加されているため、複製することが出来ないようになっています。

なお、本製品にコピーガードを取り除く機能は付随しておりません。

また、DVDのコピーは同一のディスク規格へしかコピーが出来ない制限もあります。

DVD±R(4.7GB)のディスクは、DVD±R(4.7GB)へのみコピーすることが可能です。

同じくDVD±R DL(8.5GB)についても、DVD±R DL(8.5GB)へのみコピーが可能です。

-Rと+R間も書込方式が異なりますので、同一容量であっても相互のコピーは出来ません。

4. 温度についての注意

室温が0℃以下の場所に24時間以上置いていると動作しないことがあります。

その場合は、作業を開始する4時間前に19℃以上の部屋にて機械を温めて下さい。

それを行わずに動作を開始した場合には、修復不可能な損傷を引き起こす可能性がありますので、くれぐれもご注意下さい。

5. メンテナンスについて

本製品に搭載されている光学ドライブ部品は非常にホコリに弱く、一番の故障原因となっています。

使用する際には、なるべくホコリのない場所で使用し、機械の表面上に付着した汚れなども、こまめに掃除することをお勧めいたします。

(注意) ホコリの多い場所でドライブのトレイを開けると、ディスクを読み取るレンズや機械の内部にゴミを吸い込み、故障の原因となりますので注意して下さい。

内容物の確認（付属品一覧）



デュプリケーター本体



電源ケーブル



取扱説明書

各部名称

前面



コントローラ

光学ドライブ

電源スイッチ

背面



冷却ファン

電源コネクタ

※写真はS0-P504D/BLを使用しています。
モデルによりドライブ数やデザインは
異なりますのでご了承下さい。

ドライブ・コントロールパネル

ドライブ

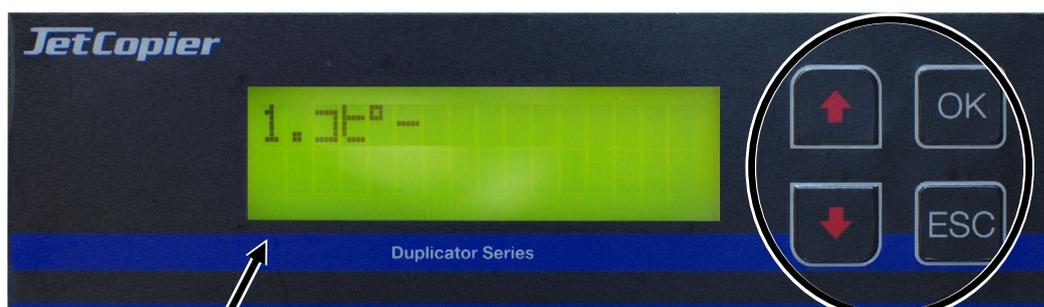


ドライブパネル
右のイジェクトボタンが押されるとトレイが排出されますのでそこへメディアをセットします

アクセスランプ
メディアへの読込・書込時に点灯・点滅します

イジェクトボタン
パネルを開いてドライブトレイを引き出します
閉じる際にも使います

コントロールパネル



LCD液晶
メニューやメッセージを表示します

操作ボタン
デuplicレータの操作全般を行ないます



上ボタン
メニューや設定画面で上にカーソルを移動します



下ボタン
メニューや設定画面で下にカーソルを移動します



決定 (OK) ボタン
選択した内容を決定します / メニュー選択では次の画面に進みます



キャンセル (ESC) ボタン
選択した内容をキャンセルします / メニュー選択では前の画面に戻ります

メニュー一覧

電源を入れて最初に表示される「トップメニュー」と、メニュー項目によってはさらに詳細な設定等が可能となる「サブメニュー」が用意されています。ご購入時に通常利用で最適な設定をおこなっておりますので、「8. セッテイ」は変更することなく、すぐにご利用できます。

メニュー表示	メニュー内容	参照
1. コピー	マスターディスクのデータあるいはHDDのイメージをブランクディスクに書き込む、デュプリケーターの基本機能です。	P12
2. テスト コピー	コピーをシミュレートし、データ内容やディスクの状態をチェックする機能です。実際の書込は行ないません。	P12
3. コンペア	マスター（原本）のデータと、複製されたディスクのデータが一致するか確認する機能です。	P12
4. コピー+コンペア	コピーを行ったあとに引き続いて自動でコンペアを行ないます。	P12
5. コピースピード セッテイ	書込の速度（倍速）を設定します。 【標準設定値】CD:32x DVD:8x DVD DL:2.4x BD:4x	P12
6. マスター センタク	コピー元のドライブを選択できます。	P13
7. ユーティリティ	デュプリケータの情報を見たり、特殊機能を利用します。	P13
7-1. ジョウホウ	ディスクやデュプリケータの情報を確認します。	P13
7-2. Erase Disc	書き換え可能メディア（RW、RE）の書込済データ消去を行います。	P14
7-3. ジゼン ベリファイ	マスターのディスクが正常に読み込みができるかチェックを行います。	P15
7-4. トラック ヘンシュウ	複数の音楽CDからトラックを選択し、1枚の音楽CDに編集します。	P15
7-5. スベテノディスクヲハイシュツ	全てのドライブのトレイを開きます。	P15
7-6. コピー カウンター	通算のコピー履歴を表示します。	P15
7-7. BIOS アップデート	コントローラのファームウェアアップデートを行います。	P16
7-8. ライトスクライブ	LightScribe対応ドライブ搭載機専用の機能です。	P16
8. セッテイ	各種設定を行ないます。	P17
8-1. オートスタート タイム	ドライブ挿入から何秒後に自動コピーを開始するか設定します。	P17
8-2. ヒョウジモード センタク	コピー中の進捗や時間表示の方式を選択します。	P17
8-3. ボタン ノ オト	ボタンを押した時に音が鳴るかどうかを選択します。	P17
8-4. スタート ジノ ハイシュツ	起動時に排出されるドライブを設定します。	P17
8-5. ヨミトリ スピード	マスターの読み込みスピードを設定します。	P18
8-6. コンペア ソクド	コンペア時の倍速設定を行います。	P18
8-7. ゲンゴ センタク	画面に表示する言語を選択します。	P18
8-8. セッテイ クリア	全ての設定をデフォルト状態に戻します。	P18

8-9. ショウサイセッテイ	特殊な設定を行います。（通常は変更する必要がありません）	P19
8-9-1. システム キドウジカン	ドライブの認識に時間が掛かる場合に起動時間を引き延ばすことができます。ドライブの数が多い場合には長めに設定します。	P19
8-9-2. スタート メニュー センタク	起動時に表示されるメニューを選択します。	P19
8-9-3. ヨミトリ エラー スキップ	読み取りのエラーが発生した場合に無視するかを選択します。	P19
8-9-4. フリョウ マスター ヘンコウ	マスターが不良状態の場合にディスクを排出するかを選択します。	P19
8-9-5. CDオーバーコピー	CD本来の規格サイズを超えた位置に書込を行い、書込可能領域を増やします。ただし、規格を無視するため互換性が低下します。	P19
8-9-6. HDD イメージ ヒョウジ	ハードディスクをマスターにした際の表示方法を選択します。 （出荷時：イメージ ノ ナマエ）	P20
8-9-7. Keep Buffer	バッファの利用を一定に保ち、安定動作を重視します。（通常：オン）	P20
8-9-8. キドウパスワードセッテイ	起動時に必要となるパスワードを設定します。	P20
8-9-9. システムパスワードセッテイ	セッテイの項目を変更する際に必要となるパスワードを設定します。	P20
8-9-10. CountPassword	コピーカウンターを表示する際に必要となるパスワードを設定します。	P20
8-9-11. Fast Key		P21
9. イメージカンリ	ハードディスク内にイメージの作成を行ったり、削除や変更等の設定を行います。	P22
9-1. イメージ センタク	ハードディスク内に保存済みのイメージを選択します。	P22
9-2. イメージサクセイ	マスターディスクからハードディスク内にイメージファイルを作成します。	P22
9-3. ヨミトリ スピード セッテイ	マスターディスクを読み込むスピードを設定します。読込が安定しない場合に速度を下げます。	P22
9-4. イメージ ジョウホウ	ハードディスク内に保存済みのイメージの情報を確認します。	P22
9-5. イメージ ノ ナマエ ヘンシュウ	ハードディスク内に保存済みのイメージの名前を変更します。	P23
9-6. イメージ サクジョ	ハードディスク内に保存済みのイメージを指定して削除します。	P23
9-7. HDDジョウホウ	ハードディスクの利用状況を表示します。	P23
9-8. HDDフォーマット	ハードディスクをフォーマット（初期化）します。保存していた全てのデータは消去されますのでご注意ください。	P24
9-9. ロード & コピー	マスターディスクからのコピーを行いながらハードディスクへのイメージ作成を並行して行います。	P24

Ver. 2.27.9

※ 7-8. のライトスクリブは、LightScribeレーベル印刷機能を有したドライブ搭載時のみ利用できます。

準備する

電源の操作

電源を入れる

- ① 電源コードと本体を接続し、コンセントを差し込みます。
- ② 本体全面にある電源スイッチを押します。
- ③ システムの起動画面が表示され、しばらくすると初期設定メニューが表示されます。

1.コピー
ソース: XX



電源スイッチ

電源を切る

- ① ディスクがドライブ内に残っていないのを確かめて下さい。
- ② メニュー画面が表示されているのを確認して、電源スイッチを押します。

※ 設定項目の変更直後など、画面に「Saving...」と出ているタイミングで電源を切りますと、デュプリケーター内部のソフトウェアが壊れ、立ち上がらなくなりますので、項目の変更直後には絶対に電源を切らないでください。



ディスクを用意する

- ① 使用するドライブのトレイを開きます。
- ② マスターとなるディスクを一番上のドライブに挿入します。
- ③ それ以下のドライブに、複製を行う空白ディスクを挿入します。
- ④ 作業を実施します。

※ ハードディスク搭載機で、ハードディスク内のイメージファイルからコピー等を行う場合には、一番上のドライブも書き込みドライブとして使用できます。マスターをハードディスクにした場合に、一番上のドライブにマスターなど書込済みディスクを入れるとエラーが発生します。

マスタードライブ . . . 読込元 (ソース)
ターゲットドライブ . . . 書込先

HDDをマスターにしてコピーを行う

本機はマスターディスクのデータをハードディスク（HDD）に保存してから、ディスクの複製を行うことができます。HDD内に保存することにより、同じマスターを使って度々複製を行う場合等に、次の複製機会のためにマスターディスクを用意しなおす必要がなくなります。また、マスターディスクをその度に探すことなく、HDD内からデータを即座に読み出すことが出来るので、マスターの管理も簡単で確実になります。

HDD保存されたデータを「イメージ」と呼びます。

まずはHDDにマスターのデータをロードする作業から行ないます。

- ① マスターのドライブにマスターディスクを挿入します。
- ② メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『2. イメージサクセイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 自動的に名前が振り当てられたイメージファイルが作成されます。

イメージの名前を変更する

イメージサクセイを行うと、自動的に割り振られた名前でHDD内に登録されます。

分かりやすく管理しやすい名前に変更する場合には、以下の操作を行います。

- ① メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. イメージ ノ ナマエ ヘンシュウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいイメージを[↑] [↓] ボタンで選択し [OK] ボタンを押すと名前編集画面に切り替わります。
- ④ [↑] [↓] ボタンで英数字を切り替えて入力していきます。次の桁に移動する際には [OK] ボタンを押します。[ESC] ボタンを押すと全ての入力をキャンセルして1つ前のメニューに戻ります。

イメージ ノ ナマエ ヘンシュ

※ 使用できる文字 A~Zのアルファベット大小別 0~9の数字 計62種類

[A001_] ←

名前入力欄（最大8桁）

- ⑤ 入力が終わり、もう一度 [OK] ボタンを押すと右端に「OK？」の文字が出ますので、良ければ [OK] ボタンを押して名前の編集を終了させます。8桁まで入力する前に空欄を入れて [OK] ボタンを押すと入力が切り上げられます。

コピーの実行

HDD内のイメージを利用してコピーを行う場合には、HDDをマスターに選択する必要があります。

下記の操作を行い、その後について12ページの『1. コピー』の操作を行う事でHDDからのコピーが実行出来ます。この操作を行う事でマスターディスクを読込ドライブに入れる必要はなくなります。

- ① メニューから『6. マスター センタク』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② 現在選択されているマスター（ソース）のドライブと、矢印の先に変更先のマスターが表示されます。[↑] [↓] ボタンを押して変更先のドライブを[HDD]に切り替えて [OK] ボタンを押します。
- ③ HDDに保存済みのマスターイメージの名前が表示されますので、利用したいイメージファイルに切り替えて選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 『6. マスター センタク』が表示されるまで、繰り返して [OK] ボタンを押して下さい。

※ ターゲット数が偶数で記載されている機種は、HDDをマスターとして利用することにより、読込ドライブも書込ドライブとして利用することが可能です。（1:2、1:4、1:6、1:8、1:12等の機種が該当します）

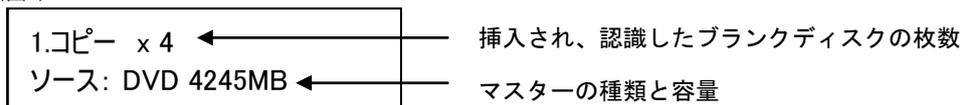
メニュー別の操作説明

1.コピー

マスターからブランクディスクへの複製を行います。

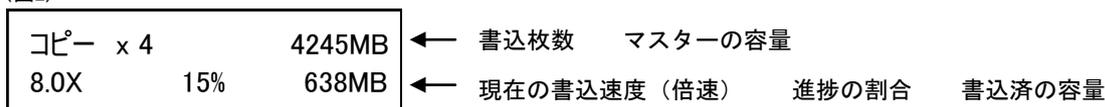
- ① ドライブにディスクをセットします。
- ② メニューから『1.コピー』を選択し、挿入したブランクディスクの枚数、ソースの容量またはイメージの名前が表示（図1）されたのを確認したら [OK] ボタンを押します。

(図1)

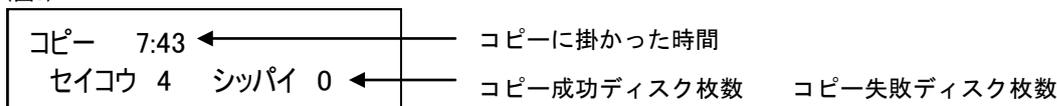


- ③ コピーが開始され、進捗が表示されます。（図1-2）
- ④ 時間が経過してコピーが終了すると、結果が表示され（図1-3）、コピーに成功したディスクのドライブトレイが排出され、失敗したドライブは排出されません。
- ⑤ 続いてコピーを行う場合には、マスター以外のドライブからディスクを取り出し、新たにブランクディスクを挿入して②の操作を繰り返します。

(図2)



(図3)



2.テスト コピー

ディスクの書込をシミュレートし、動作チェックをします。（実際には書き込みません）

上記【1.コピー】項目の [1.コピー] のところをテストコピーに置き換え、同様の操作を行って下さい。

3.コンペア

書込済みのディスクが、正常に書きこまれたかどうかのチェックを行います。

上記【1.コピー】項目の [1.コピー] のところをコンペアに置き換え、同様の操作を行って下さい。

なお、コンペアは書き込まれたデータ内容が同一であるかをチェックし、書き込みもしくは読み込みエラーが発生していないかをチェックする機能ですので、書込で使用したものと同一イメージを指定して下さい。別のイメージを指定しますとコンペア失敗となります。

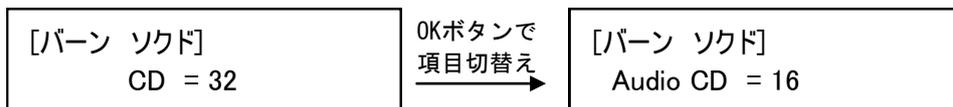
4.コピー+コンペア

コピーの動作に引き続き自動でコンペア動作が行われます。（操作はコピーと共通です）

5. コピースピード セッテイ

コピー等の書込動作速度を指定します。（書込倍速設定）

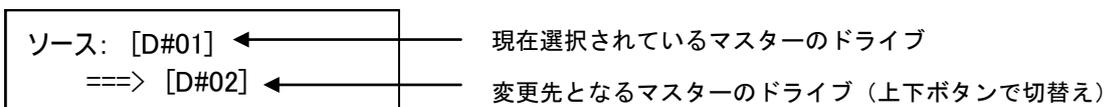
- ① メニューから『5. コピースピード セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② 「[バーン ソクド] CD =XX」と表示されます。CDの速度を変更する場合には [↑] [↓] ボタンで倍速の数字を指定します。他のディスク種類の倍速を変更する場合には [OK] ボタンを押し、目的の種類に切り替えます。数字の変更が終わった場合にも [OK] ボタンを押し、すべての設定が終了したら [ESC] ボタンを押してメニューから抜けます。



6. マスター センタク

利用するマスターのドライブや、ハードディスク内のイメージを選択します。

- ① メニューから『6. マスター センタク』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② 現在選択されているマスター（ソース）のドライブと、矢印の先に変更先のマスターが表示されます。[↑] [↓] ボタンを押して変更先のドライブを切り替えます。通常は一番上のドライブを使用しますので [D#01] を選択します。[01]の部分がドライブの通し番号を指し、上から順番に数字が増えます。また、ハードディスクをマスターにする場合には [HDD] に切り替えて [OK] ボタンを押します。
- ③ HDDに保存済みのマスターイメージの名前が表示されますので、利用したいイメージファイルに切り替えて選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 『6. マスター センタク』が表示されるまで、繰り返して [OK] ボタンを押して下さい。



7. ユーティリティ

本機の各種情報を参照したり、特殊な機能を実行します。

7-1. ジョウホウ

ドライブに挿入されているディスクの情報や、本機の各種情報を確認できます。

7-1-1. ディスク ジョウホウ

ディスクの容量、フォーマット形式が確認できます

- ① 情報を確認したいディスクをドライブに挿入します。
- ② メニューから『7. ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『1. ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで『1. ディスク ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ⑤ 「ディスク シキベツチュウ」と表示された後、下図のように情報が表示されます。（一例）

[1]	1	トラック	←	ドライブの番号	トラック数
Data CD	76:50		←	ディスクの種類	再生時間（CDの場合）
[3]	16, 12, 8, 6, 4		←	ドライブの番号	ディスクの対応倍速
DVD-R	4464M		←	ディスクの種類	書き込める容量もしくは書込済みの容量

7-1-2.ドライブ ジョウホウ

ドライブの型名、ファームウェアを確認できます

- ① メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1.ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『2.ドライブ ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 確認したいドライブを [↑] [↓] ボタンで選択します。終了する場合は [ESC] ボタンを押します。

#01	P02.0	1.01	←	ドライブの番号	ポート番号	ファームウェアバージョン
PIONEER BDR-206D			←	メーカー名やドライブ型番等ドライブ固有の情報		

7-1-3.システム ジョウホウ

本機に搭載されているコントローラのファームウェアバージョンが確認できます

- ① メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1.ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『3.システム ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。

P507	←	コントローラの型番
V2.27.9	←	コントローラのファームウェアバージョン
512MB	←	搭載メモリ容量

7-2.Erase Disc

書換可能ディスク (RW、RE) の内容を消去・初期化します

- ① 削除したい書き換え可能ディスクをドライブに挿入します。
- ② メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『2.Erase Disc』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで『クイックサクジョ』と『カンゼンサクジョ』を選択し [OK] ボタンを押します。
『カンゼンサクジョ (完全削除)』には多くの時間がかかりますのでご注意ください。
- ⑤ 消去が始まります。しばらくお待ち下さい。

クイック サクジョ _ o o _ _ o _ _	←	削除中のディスクが入っているドライブは「o」と「_」が交互に表示されます。
------------------------------	---	---------------------------------------

『Erase Disc』には2種類のモードが用意されております。目的・用途に合わせてお選びください。

・クイックサクジョ → 数秒程度で処理が終わります
ディスクの「目次部分」のみ消去し、データはそのまま残します。データは残っていますが、空のディスク (ブランク) として扱われるようになります。

・カンゼンサクジョ → 書込の場合と同等の時間が掛かります
ディスクを全てゼロのデータにします。すべての情報、データが消去されます。

「クイックサクジョ」ではデータが残っているため、復元が容易です。ブランクディスクとして第三者に渡す場合などには、カンゼンサクジョを行っていただくのをお勧めします。

7-3.ジゼン ベリファイ

マスターディスクが正常に読み込みができるかを事前にチェックします。

- ① マスターのドライブにチェックしたいマスターディスクを挿入します。
- ② メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『3.ジゼン ベリファイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 読込が行われ、結果が「セイコウ！」（正常）「シッパイ！」（異常）で表示されます。

7-4.トラック ヘンシュウ

複数の音楽CDからトラックを選択し、1枚の音楽CDに編集してコピーします。（音楽CD限定機能）

- ① マスターのドライブに編集元のCDを挿入し、書込先のドライブ1台に空白ディスクCDを挿入します。
- ② メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『4.トラック ヘンシュウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで『1.トラック コピー』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ⑤ 下に並んで表示されたトラックの番号を [↑] [↓] ボタンで切り替え [OK] ボタンを押してアルファベットを振り当てていきます。アルファベット順にトラックが決められます。
- ⑥ トラックの振り当てが終わりましたら右端の「OK」の位置で [OK] ボタンを押してコピーを開始します。

a	b	c	d				
1	2	3	4	5	6	7	8

← コピーを実施するトラック番号（下）を選択していきます。選択した順番にアルファベット（上）が振られていきます。

- ⑦ 全てのトラックがコピー完了しましたら『4.トラック ヘンシュウ』内の『2.ファイナライズ』を選択し [OK] ボタンを押します。ファイナライズの処理が完了し、オーディオ機器で利用できる音楽CDが完成します。ファイナライズ処理を行わない場合は再生できない場合があります。

7-5.スベテノディスク ヲ ハイシュツ

全てのドライブのトレイを開きます。

- ① メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5.スベテノディスク ヲ ハイシュツ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 全てのドライブのトレイが開きます。（ディスクが挿入されていないドライブも開きます）

7-6.コピー カウンター

通算のコピー履歴を表示します。

- ① メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『6.コピー カウンター』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『1.カウントヲヒョウジ』を選択し [OK] ボタンを押します。

CD	P0	F0
DVD	P0	F0

← CDの成功数 (Pass) と失敗数 (Fail)

← DVDの成功数 (Pass) と失敗数 (Fail)

※ カウンターを利用するには『2.カウンター キドウ』を【オン】にしておく必要があります。オフの時にはカウントされません。

※ カウントを消すには『3.カウンター クリア』を行います。

7-7.BIOS アップデート

システムのファームウェアをアップデートします

- ① マスターのドライブにファームウェアの書き込まれたディスクを挿入します。
- ② メニューから『7.ユーティリティ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『7.BIOS アップデート』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 一定時間が経つとアップデートが完了し、電源を切るよう促す画面が表示されますので、電源を切って再起動します。

※ ファームウェアはデブリケータの挙動を大きく変えたり、メニューの変更や設定の初期化、ドライブの対応など様々な条件が変更となるものです。アップデートする必要のない場合には極力行わないで下さい。また、書き換え中に電源が切れた場合にはデブリケータの動作が行えなくなったり、正常に起動しなくなる場合がありますので、アップデートする際にも充分にご注意下さい。

7-8.ライトスクライブ

LightScribe規格のディスクのレーベル印刷を行います。(LightScribe対応ドライブが必要です)

※ 本製品はLightScribe対応ドライブを搭載しておりませんので、この項目は省略します。

MEMO

8.セッテイ

本体の挙動全般の設定を行います。

8-1.オートスタート タイム

ドライブ挿入から何秒後に自動コピーを開始するか設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1.オートスタート タイム』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで「オフ」から「99秒」の中で利用したい時間を選択し [OK] ボタンを押します。

8-2.ヒョウジモード センタク

コピー中の進捗や、時間表示の方式を選択します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『2.ヒョウジモード センタク』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 「キホン」「Show Speed」「Show Timer」から表示したい方式を選択しボタンを押します。

「キホン」	「Show Speed」	「Show Timer」
コピー x4 4425M 15% 638M	コピー x 4 4245MB 8.0X 15% 638MB	コピー x 4 4245MB 1:14 15% 638MB

↑倍速が表示されます

↑経過時間が表示されま

8-3.ボタン ノ オト

ボタンを押したときに音が鳴るかどうかを設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3.ボタン ノ オト』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで「オン」「オフ」を切り替えます。(オン:鳴る オフ:鳴らない)

8-4.スタート ジノ ハイシュツ

起動時に排出されるドライブを設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3.ボタン ノ オト』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで設定したい項目に切り替えます。

- ・コピーモト ハイシュツ、コピーサキ ハイシュツ
コピーモトはマスタードライブ、コピーサキはターゲットドライブのトレイを排出します。
- ・スベテノ ディスクハイシュツ
ディスクが入っている全てのドライブのトレイを排出します。
- ・スベテヲ ハイシュツ
ディスクの有無に関わらず、全てのドライブのトレイを排出します。
- ・ハイシュツ シマセン
排出は行いません。

8-5.ヨミトリ スピード

マスターの読み込みスピードを設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5.ヨミトリ スピード』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 「[ヨミトリ スピード] CD =XX」と表示されます。CDの速度を変更する場合には [↑] [↓] ボタンで倍速の数字を指定します。他のディスク種類の倍速を変更する場合には [OK] ボタンを押し、目的の種類に切り替えます。数字の変更が終わった場合にも [OK] ボタンを押し、すべての設定が終了したら [ESC] ボタンを押してメニューから抜けます。

8-6.コンペア ソクド

コンペア時の倍速設定を行います。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『6.コンペア ソクド』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 「[コンペア ソクド] CD =XX」と表示されます。CDの速度を変更する場合には [↑] [↓] ボタンで倍速の数字を指定します。他のディスク種類の倍速を変更する場合には [OK] ボタンを押し、目的の種類に切り替えます。数字の変更が終わった場合にも [OK] ボタンを押し、すべての設定が終了したら [ESC] ボタンを押してメニューから抜けます。

8-7.ゲンゴ センタク

画面に表示する言語を選択します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『7.ゲンゴ センタク』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで利用したい言語に切り替えます。

8-8.セッテイ クリア

全ての設定をデフォルト状態に戻します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『8.セッテイ クリア』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 警告メッセージが表示されますので、クリアして良ければ [OK] ボタンを、クリアするのを辞める場合には [ESC] ボタンを押します。

8-9. ショウサイ セッテイ

特殊な設定を行います。（通常は変更する必要がありません）

8-9-1. システム キドウジカン

ドライブの認識に時間が掛かる場合に起動時間を引き延ばすことができます。

- ① メニューから『8. セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『1. システム キドウジカン』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「5t'yo」から「99t'yo」の中で利用したい時間を選択し [OK] ボタンを押します。

※ ドライブの台数が多いほど、認識に時間が掛かるため、短い時間に設定されていると一部のドライブが認識されないまま起動してしまうことがあります。このような場合にはこの設定項目で起動時間を長く設定し、改善されるかをお試し下さい。

8-9-2. スタート メニュー センタク

起動時に表示されるメニューを選択します。

- ① メニューから『8. セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『2. スタート メニュー センタク』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 起動時に表示したいメニュー項目を選択し [OK] ボタンを押します。

8-9-3. ヨミトリ エラー スキップ

読み取りのエラーが発生した場合に無視するかを選択します。

- ① メニューから『8. セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『3. ヨミトリ エラー スキップ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「オン」「オフ」を切り替えます。（オン：する オフ：しない）

8-9-4. フリョウ マスター ヘンコウ

マスターが不良状態の場合にディスクを排出するかを選択します。

- ① メニューから『8. セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『4. フリョウ マスター ヘンコウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「オン」「オフ」を切り替えます。（オン：する オフ：しない）

8-9-5. CDオーバーコピー

※ オフを推奨

CD規格サイズを超えた位置に書込を行い、書込可能領域を増やします。互換性は低下します。

- ① メニューから『8. セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『5. CDオーバーコピー』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「オン」「オフ」を切り替えます。（オン：する オフ：しない）

8-9-6.HDD イメージ ヒョウジ

ハードディスクをマスターにした際の表示方法を選択します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9.ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『6.HDD イメージ ヒョウジ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで表示したいモードを選択し [OK] ボタンを押します。

- ・イメージ ノ ナマエ . . . イメージファイルに付けられた名前で表示します。
- ・ヨウリョウ . . . イメージファイルの容量で表示します。

8-9-7.Keep Buffer

※ オンを推奨

バッファの利用を一定に保ち、安定動作を重視します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9.ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『7.Keep Buffer』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「オン」「オフ」を切り替えます。(オン：行う オフ：行わない)

8-9-8.キドウパスワードセッテイ

起動時に必要となるパスワードを設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9.ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『8.キドウパスワードセッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「パスワードセッテイ」「オフ」を切り替えます。
- ⑤ 次のページの【パスワード設定方法】をご覧ください。

8-9-9.システムパスワードセッテイ

セッテイの項目を変更する際に必要となるパスワードを設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9.ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『9.システムパスワードセッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「パスワードセッテイ」「オフ」を切り替えます。
- ⑤ 次のページの【パスワード設定方法】をご覧ください。

8-9-10.CountPassword

コピーカウンターを表示する際に必要となるパスワードを設定します。

- ① メニューから『8.セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9.ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『10.CountPassword』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「パスワードセッテイ」「オフ」を切り替えます。
- ⑤ 次のページの【パスワード設定方法】をご覧ください。

● パスワード設定方法

メニュー『8. セッテイ』→『9. ショウサイ セッテイ』内の8～10番メニューに共通する操作です。

- ① 「パスワードセッテイ」で [OK] ボタンを押すと、パスワード入力画面に切り替わります。

[xxx/パスワードセッテイ] => _

※ 使用できる文字 A～Zのアルファベット大小別 0～9の数字 計62種類
← パスワード入力欄（最大6桁）

- ② [↑] [↓] ボタンで英数字を切り替えて入力していきます。次の桁に移動する際には [OK] ボタンを押します。[ESC] ボタンを押すと全ての入力をキャンセルして1つ前のメニューに戻ります。

[xxx/パスワードセッテイ] => ABC012

- ③ 6桁の英数字の入力が終わりましたら、もう一度 [OK] ボタンを押して入力を完了させます。自動で1つ前のメニューに戻りますが、設定は完了しています。次回から先ほど入力したパスワードが有効になりますので、入力した英数字を忘れないようにお願いします。

- キドウパスワード . . . デュプリケータの電源を入れた直後にパスワード入力を求めます。
※ キドウパスワードは、正しくパスワードの入力が行えない場合に全ての操作を受け付けなくなります。
- システムパスワード . . . 『8. セッテイ』を選んだ時にパスワード入力を求めます。
- CountPassword . . . 「コピーカウンター」を見る時にパスワード入力を求めます。

※注意

設定したパスワードを忘れてしまうと、操作が行えなくなります。
特に、起動時にパスワードを確認する『8. キドウパスワードセッテイ』が入力できない場合には、全操作が行えず、復旧も行えなくなりますのでくれぐれもご注意ください。
この操作において発生した問題についてのサポート、および無償保証の適応は行えませんので予めご了承下さい。

※ パスワードを使用した後で、使用しないよう設定をし直す場合は、設定を「オフ」にすると共に、万が一の操作ミスを防ぐため、パスワードセッテイを全て空欄で埋めておくことをお勧めします。パスワードセッテイの際に [↑] [↓] ボタンを押さずに [OK] ボタンを押していくことで空欄の入力が行えます。

8-9-11.Fast Key

※ uSATAコントローラ専用機能

コントローラ操作ボタンの「Fast Key」に機能を割り当てます。

- ① メニューから『8. セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ショウサイ セッテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『11. Fast Key』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンで「#1 (左のボタン)」「#2 (右のボタン)」を切り替えます。
- ⑤ 設定しておきたい機能を選び [OK] ボタンを押します。

※ コントローラ操作部の左にUSBスロットが付いた「uSATA」コントローラ専用の機能です。通常のコントローラにはFast Keyが用意されていないので、この機能は利用できません。

9.イメージ カンリ

※ HDD搭載機のみ対象の項目

ハードディスク内にイメージの作成を行ったり、削除や変更等の設定を行います。

1.イメージ センタク

ハードディスク内に保存済みのイメージを選択します。

- ① メニューから『9.イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1.イメージ センタク』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のイメージデータを [↑] [↓] ボタンで選択し [OK] ボタンを押して選択を決定します。

001 [A001]	←	イメージ振当番号	[イメージファイル名]
DVD	←	イメージのディスク種別	容量

2.イメージサクセイ

マスターディスクからハードディスク内にイメージファイルを作成します。

- ① マスターのドライブにマスターディスクを挿入します。
- ② メニューから『9.イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『2.イメージサクセイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 自動的に名前が振り当てられたイメージファイルが作成されます。

3.ヨミトリ スピード セツテイ

マスターディスクを読み込む速度を設定します。読込が安定しない場合に速度を下げます。

- ① メニューから『9.イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3.ヨミトリ スピード セツテイ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスクの種類ごと速度を設定していきます。設定の操作方法は『5.コピースピード セツテイ』を参照下さい。

4.イメージ ジョウホウ

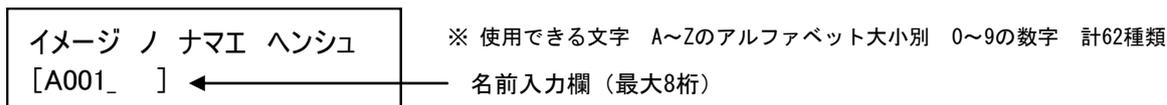
ハードディスク内に保存済みのイメージの情報を確認します。

- ① メニューから『9.イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4.イメージ ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のイメージデータを [↑] [↓] ボタンで選択して確認します。(確認できる情報は『1.イメージ センタク』と同様です)

5. イメージ ノ ナマエ ヘンシュウ

ハードディスク内に保存済みのイメージの名前を変更します。

- ① メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. イメージ ノ ナマエ ヘンシュウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいイメージを [↑] [↓] ボタンで選択し [OK] ボタンを押すと名前編集画面に切り替わります。
- ④ [↑] [↓] ボタンで英数字を切り替えて入力していきます。次の桁に移動する際には [OK] ボタンを押します。 [ESC] ボタンを押すと全ての入力をキャンセルして1つ前のメニューに戻ります。



- ⑤ 入力が終わり、もう一度 [OK] ボタンを押すと右端に「OK?」の文字が出ますので、良ければ [OK] ボタンを押して名前の編集を終了させます。8桁まで入力する前に空欄を入れて [OK] ボタンを押すと入力が切り上げられます。

6. イメージ サクジョ

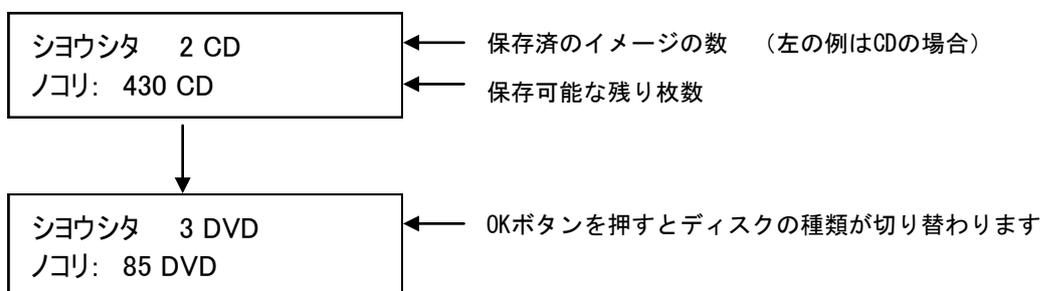
ハードディスク内に保存済みのイメージを指定して削除します。

- ① メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『6. イメージ サクジョ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいイメージを [↑] [↓] ボタンで選択し [OK] ボタンを押します。
- ④ 削除して良いか確認の画面が表示されるので、良ければ [OK] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。

7. HDD ジョウホウ

ハードディスク内に保存済みのイメージの種類と数、残り保存可能数を表示します。

- ① メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『7. HDD ジョウホウ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにハードディスクの利用状況が表示されます。CDから表示されますので、他の種類に切り替える場合には [OK] ボタンを押します。ボタンを押すごとに種類が切り替わります。



8.HDDフォーマット

ハードディスクを初期化（全データ消去）します。

- ① メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『8. HDD フォーマット』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 全てのデータを消去して良いかの確認画面が出るため、良ければ [OK] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。
- ④ 一定時間が経った後、フォーマットが完了して自動的にメニュー画面に戻ります。

※注意

フォーマットを行うと、データの復旧は不可能となります。良くご確認の上、実行して下さい。

9.ロード & コピー

マスターディスクからコピーを行うのと同時にハードディスクへイメージを保存します。

- ① メニューから『9. イメージ カンリ』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. ロード & コピー』を選択し [OK] ボタンを押します。
- ③ 「オフ」「ドウキ」「イチドダケロード」の中で利用したい機能を選択し [OK] ボタンを押します。

● オフ

自動ではマスターディスクのイメージを保存しません。

● ドウキ

自動でマスターディスクのイメージを保存します。
オンザフライで書込を行いながら、ハードディスクにイメージを保存します。
連続して二度目以降の書込を行うと、保存されたイメージをマスターにして書込を行います。

● イチドダケロード

自動でマスターディスクのイメージを保存します。
書込を開始すると、ハードディスクにイメージの保存が開始され、一度目から保存されたイメージをマスターにして書込を行います。

● uSATAコントローラについて

コントローラ部分にUSBスロットが付き、挿入したUSBメモリからディスクへの書込みを行う機能が追加された「uSATA」のコントローラを搭載したモデルをご利用の方は、該当モデルにのみ同梱しております別紙【uSATAコントローラの使用について】をご覧ください。



※ uSATAコントローラには、通常のコントローラに加えて上の2つが追加されています。

MEMO

製品の取り扱い・修理に関するご相談窓口

株式会社 創朋



03-5812-2153

受付時間：平日 10:00 ~ 19:00 (休業日を除く)

株式会社 創朋

〒101-0021 千代田区外神田 6-6-1 斉藤ビル 3F

TEL.03-5812-2153 FAX.03-5812-2152 <http://www.soho-jp.com>

2015.01.23